

1 学校評価（自己評価）の分析と考察

（1） 教員自己評価より

・各学部の各目標（10項目）について、「よくできた」「できた」の合計がすべて80%を超えており、非常に高い評価を得ている。また、8項目については95%を超えており、教員が各学部の目標に向けた教育活動を実施していることが分かる。

・各分掌部の各目標（15項目）について「よくできた」「できた」の合計がすべて90%を超え、そのうち10項目については95%を超えており、各分掌部が目標に向けて積極的に取り組んでいることが分かる。

・各学部の目標のうち1項目については「あまりできなかつた」「できなかつた」と回答した教員が10%を超えた。これは指導体制上、直接的に教育・指導する機会がない教員がいることが影響していると考えられる。

・各分掌部の目標のうち1項目については「あまりできなかつた」が10%であった。進路指導部については、卒業学部や卒業学年以外の教員の関わりが限定的であることが要因と推測される。しかし、今年度から小学部及び中学部の保護者にも、進路指導部の取組についてアンケート回答を依頼していることから、今後は児童生徒や保護者に向けて、卒業後の進路を見据えた情報提供ができるよう、研修等を重ねていく必要がある。

・総合的には、「目標に向けた着実な取組」「子どもの実態に応じた丁寧な指導」「関係機関との連携」がおおむね高く評価されており、学校全体として教育活動の基盤が安定していることがうかがえる。

（2） 保護者アンケートより

・各学部の11項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が95%を超えており、保護者から高い信頼を得ていることが分かる。

・各分掌部の12項目すべてにおいて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が85%を超えており、そのうち10項目においては90%を超えていた。

・全24項目において、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」の合計は5%未満であり、おおむね本校の取組が肯定的に評価されている。

・各学部及び各分掌の取組のうち、それぞれ1項目で「わからない」の回答が10%を超えたが、その割合は昨年度より減少している。これは、教員による情報発信の充実が一定程度評価された結果であると考えられる。

・自由記述においては、肯定的な意見が圧倒的多数を占めており、学校に対する信頼度は高いと言える。一方で、生活・環境面や日々の連絡・情報共有については改善余地があることも明らかになった。

(3) 教員自己評価と保護者アンケートとの比較

学校目標と保護者アンケートの設問内容が完全に一致していないため、単純な比較はできないものの、全体的には保護者アンケートの評価が教員自己評価より高い結果となっており、学校の取組に対する保護者の評価が伺える。共通して高く評価されている点としては、「子どもの成長が実感できる指導」「個別支援・特別支援教育の質が高い」「安心安全な学校環境づくり」が挙げられ、これらは本校の強みであると言える。

一方で、教員自己評価は保護者評価と比較して、やや低い傾向が見られる項目もあるが、これは、教職員が日々の実践を振り返り、より高い水準を目指して自己を厳しく評価している結果であると考えられる。特に、分教室や訪問教育に関する一部項目では、教員評価・保護者評価ともにB評価となっており、情報発信の在り方や支援内容の見える化について、さらなる工夫が求められる。

また、総務部・教務部・進路指導部などの分掌に関する項目では、教員からは比較的高く評価されている一方で、保護者が直接実感しにくい取組については評価に差が生じる傾向が見られた。今後は、取組の意図や成果を分かりやすく伝える工夫が重要である。

2 保護者アンケート自由記述について

総数 36 件の内容は以下の通りである。

(1) 学校行事に関する意見 (2)

- ・日常の様子を見たいので、保護者向けのオープンスクールの日などを設けて欲しい。
- ・10月11月にイベントが多く、スケジュール変更が苦手な息子は学校への行き渋りが出てしまう事があるので、生徒への負担を考えてほしい。

(2) 教育活動・指導体制に関する意見 (4)

- ・出来る子供達や動ける子供達は、もっと身体を使って健康的にしてもらいたいと思います!!宜しくお願いします。
- ・学校で専門の先生方が個別支援計画に基づいて指導してくださっているおかげで、成長を感じられるので、13時下校の日が14時か15時下校に変わってくれることを望みます。やはりデイではそこまでの専門性を持った職員は少ないので、療育的要素にはあまり期待できない実情があると思っています。
- ・新学期ごとに1週間バス停までの親の送り迎えが正直負担です。もちろん見守りは大切とは思いますがそこまで必要なのかと違和感を感じる時があります。せめて初日だけとかに改善できないかと思います。
- ・障害のある子は毎日の生活習慣が大切なので、長期休みを少しでも短くしてほしい。せめて地域の小学校と同じにしてほしい。

(3) 学校環境・設備・通学に関する意見 (5)

- ・月金も14:00、15:00下校にしてほしい。
- ・バスの乗車時間が長い。徒歩で通えるバス停を新設してほしい。
- ・給食費の値上げ、予算をつけるなどして設備の改善、給食の内容を充実させて欲しい。先生も食べれるようにしてほしい。
- ・下校のバスが段々出る時間が早くなっている警報時の休校対応は時間厳守と言っているなら、

こちらの時間も厳守して欲しい。カリヨンができ、バスのルートや乗車時間も変わっていると
思うので改めて警報時の休校の時間等も見直して欲しい。

・保護者が来校する際の自転車やバイクの置場が少ない様に感じる。

(4) 情報提供・連絡手段に関する意見 (4)

・子供から学校での話を教えてもらえない保護者が多いと思うので、もっと普段の様子をブログ
に乗せたり、学年やクラスでの手紙で写真付きなどで見せてほしい。

・学校での様子を細かく、普段からノートでやり取りして下さっていて本当に感謝しています。
ただ、参観日等、学校での様子も見せて頂く機会もあるのですが、親がいる事でいつもと違う様
子だったりすると思いますので、普段の様子を動画や写真などで見せて頂ける機会があるとより
一層様子がわかったり、先生方の援助の仕方など参考にさせて頂けるかなと思います。日々の多
大な業務に加えてこのようなお願いをするのは申し訳ないのですがご検討よろしくお願ひ致し
ます。

・ラクメは便利ですが、紙で学年通信はほしいです。

・個人情報保護が、地域の学校よりも過剰すぎると思う。クレーム対策もあるのはわかるが、親
は子供の友だちの顔すら分からない。

(5) 保護者の感謝・肯定的な意見 (17)

・いつも子供のことをよく理解しご対応いただきありがとうございます。

・毎日楽しく学校に通ってくれる息子を送り出しています。出来ることやまだ苦手なこともある
中、嫌がらず自ら前日の寝前に準備し次の日学校へ行くぞ！という意気込みが聞こえてきそう
な毎日を送らせてもらっています。

・いつも子供達一人一人にあった取り組みをして下さり、また時には心身の状態に細かく目を配
って頂き誠に感謝申し上げます。今後とも宜しくお願ひ致します。

・子供のできないところを見捨てず、諦めずにずっと向き合ってください先生方(特にク
ラス担任)のお姿にただただ感謝しかございません。もうすぐ学年が上がりクラス編成がありま
すが、できるなら、このままクラス担任の変更なしでお願いしたいと願うほどです。なぜなら 2
年生になってからの子供の成長をすごく感じさせていただいているからです。子供の年齢を思い
ますと大きな成長を感じる事は中々難しいことと思っておりましたので日頃の先生方のご支援
に心より感謝申し上げます。今後とも先生方のお力添えをお願い申し上げますとともに親子共々
どうぞ宜しくお願ひいたします。この場をお借りし改めまして御礼申し上げます。いつも、本
当にありがとうございます。

・いつも、ありがとうございます。学校の先生方が頑張っていてくださり、こどもも安心して通
っています。家庭でも学校と福祉事業所と連携し、こどもの成長に手助けをしていきたいです。
今後とも宜しくお願ひ致します。

・子どもの性格や特性をよく理解して下さり、頑張ったことや小さな成長など、様々な子ども
の姿を教えていただけています。子はもちろん親にも寄り添ってくださり、何でも気軽に相談で
きてとてもありがたいです。

・中学部の頃から、毎日学校へ行くのが楽しみなようです。先生方が熱心に関わって下さり、た
くさんの経験をさせていただけて、いつも感謝です。いつもありがとうございます。

・子どもに対して分かりやすく、取り組みやすいようにご指導いただいているなど感じるものが
とても多いです。その環境の中で子どもが成長していること、嬉しく思っています。ありがとう
ございます。

・いつもお世話になり、ありがとうございます。

・毎日学校に楽しく通っています。先生方にはとても感謝しています。

・いつも温かい対応と、保護者への配慮に感謝いたします。

・様々な障害の子がいて、ほぼ理屈の通じない子供達の指導は、本当に大変だと思います。息子

は中学部からですが、色々なタイプの子達と一緒に過ごし、経験を積み社会性が育って来ました。日々感謝しています。本当にありがとうございます。卒業までのあと2年と少しの期間は、社会に出る為に、とても大切な時間です。優しくも厳しく指導して頂けたら幸いです。最初は何をどうしても、分からない様で出来なくて、でも少しずつ理解して行き、親がほぼ諦めた頃出来るという日々の繰り返しです。その度に、教え方が悪かったのか焦り過ぎたのかと反省し、この子に秘めた能力が有ると信じきれていなかったなと痛感しています。どうしても出来ないことは、きっと有るとは思いますが、なるべく出来ると信じて育てたいと思っています。学校で、先生から、だからこそ、受けられる指導があると思います。どうぞよろしくお願い致します。

- ・いつも子供の気持ちに寄り添って下さり、感謝致します。これからも子供の将来に向けてアドバイス指導いただけると嬉しいです。

- ・いつも子供たちに寄り添っていただきありがとうございます。日々の声かけやサポートのおかげで自信に満ち、楽しく学校に通っています。

- ・毎日学校に笑顔で登校する息子を見ていて、楽しい場なんだな！先生やお友達に早く会いたいのかな～と毎朝見送っています。息子は自分の思いを言葉に乗せることは、まだ出来ませんが、学校に行く意欲がひしひしと伝わっているので安心していています。いつも丁寧に細やかに指導、見守りしてくださり感謝しています。ありがとうございます。

- ・いつも丁寧な学校運営をしていただき、ありがとうございます。子ども達の個性を大切に授業などを工夫したり、大変なことも多いと思います。先生方の負担も大きいと思いますので、働き方などのバランスを大切にして運営を継続していただけたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。

- ・今年で卒業ですが、こやでは沢山の良い思い出や経験をさせて頂いて本当に感謝です。

(6) その他の意見 (4)

- ・大きい子だったので、中学部か高等部だと思いましたが先生から、「ちゃんと歩け！」「しゃんとせえ！」とすごく強く言われている子を目にしました。初めて目にして、びっくりしてしまいました。先生方をととても信頼しているので、想像もしておらず我が子も同じような事があると、とても悲しいなと思いました。様々な子供がいて、毎日たくさんご迷惑をおかけしていると思います。先生方には感謝しても仕切れないと思っています。でも、もう少し優しい言い方をしていただけると嬉しいなと思いました。初めて見てたまたまかと思いますが、意見してしまいすみません。

- ・いつもお世話になりありがとうございます。出来る事が少しずつ増えて嬉しく思います。たまに私が忘れ物をしてしまい、学校へ届ける事があるのですが、教室へ行くのは授業の邪魔になりそうなのと子供がこちらへ走って来てしまいそうで事務室へお願いするのですが基本的には皆様どうされているのでしょうか。事務室へ頼むのはあまりよくないでしょうか。

- ・子どもの送迎で学校に伺うことがあります。先生方の中で挨拶を返さない方が一定数いらっしゃることには驚きました。保護者からの挨拶ではありません、生徒からの挨拶です。先生方も大変な業務の中いっぱいいっぱいなのかなとは思いますがせめて生徒からの挨拶にはしっかり応えてあげてほしいと思いました。健常者のように当たり前で挨拶ができる子ばかりではありません。たくさんの勇気を持って声を出した生徒に挨拶してよかったと思ってほしいです。

- ・クラスの先生同士でのやり取りが出来ていないのか、一度お伝えしたことを何度も聞いてきたり、違うことを言われたりします。保護者に聞く前に先生同士で話ししてほしいです。

3 学校関係者評価

第2回学校評議員会（令和8年2月26日開催）において、学校評議員の方々からいただいた助言は次の通りである。

- ・教員の自己評価が80%と高く、保護者による学校評価はそれを上回っている。これは、学校として適切かつ質の高い教育実践が行われていることの表れである。
- ・今後の取組の方向性である3点①教育活動の「見える化」と情報発信、②個々のニーズに応じた支援とキャリア教育、③教職員間の対話と協働を重視した学校運営「チームこやの里」に尽きると思う。とりわけ風通しの良い安心して意見交換できる職場づくりができれば一番よい。
- ・保護者の多くの声から、学校への信頼と期待を感じる。「寝る前に準備し、次の日学校へ行くぞ!という意気込みが聞こえそう」「子どものできないところを見捨てずに、あきらめずずっと向き合ってください」「子供の性格や特性をよく理解し」「親にも寄り添ってくださり、なんでも気軽に相談できる」「いろんなタイプの子供と一緒に過ごし、経験を積み社会性が育ってきた」など、いずれも大変ありがたく、励みとなる評価である。その一方で、「ちゃんと歩け!」「しゃんとせえ!」という声かけや、子供の送迎で伺った際に、挨拶を返さない教員や挨拶する子供に対して返事の挨拶をしない教員もいることに驚いたとの声もあった。少数とはいえ、あるという現実は無視できないと思う。
- ・保護者回答における「わからない」の比率は、過度に懸念する必要はないだろう。ゼロを想定しにくい項目であり、アンケート全体からは学校への信頼がうかがえる。保護者からの問い合わせに対応できる体制を整えることで対応可能になるのではないか。それよりも、教員の多い業務量に配慮し、負担を軽減して子供たちに向き合う時間を確保してほしい。
- ・学校評価の中で、少数だがよくない意見がある。教員の「ちゃんと歩け」は、理由があるのかもしれないが、適切な表現方法を考えてほしい。
- ・目標設定と評価は、抽象的な表現を避け、具体的に明示することで実効性が高まる。
- ・新年度以降も高評価・好調を継続してほしい。

4 今年度のまとめと今後の取組

昨年度に引き続き、校長の学校経営方針に基づき、学校自己評価目標を6項目策定した。また、その目標を達成するために、各学部及び各分掌部において目標や具体的な取組、評価指標などの設定を依頼した。

各学部においては、キャリア教育を軸に、挨拶や人との関わり、役割意識の育成に継続的に取り組み、児童生徒の実態に応じた支援や教材の工夫、家庭との連携が進められた。その結果、児童生徒が自分なりの方法で意思表示をしたり、役割を理解して活動に参加したりする姿が多く見られるようになった。

また、生徒指導部・保健部を中心とした取組により、安全・安心な学校環境づくりや健康・食育の充実が図られた。避難訓練やいじめ防止の組織的対応、保健・給食指導の工夫は、保護者からも高い評価を得ている。

進路指導については、昨年度は高等部の保護者のみに回答をお願いした。しかし、今年度からは全学部の保護者にアンケートを実施した。キャリア教育は小学部段階からスタートしていることを鑑み、進路指導部は小学部及び中学部の保護者向けの進路研修会を実施したり、入学

説明会で進路指導について説明を行ったりしている。今後も学校評価アンケートなどを通じて、保護者のご意見を反映し、卒業後の進路指導に関する情報提供の更なる充実を図りたい。

一方で、課題としては、

- ・教育活動や分掌の取組内容が保護者に十分伝わりきっていない点
- ・学部や分掌によって取組の成果にばらつきが見られる点
- ・教職員自身が成果を実感しにくく、自己評価が低くなりがちな点が挙げられる。

今後は、成果の整理と共有、成功事例の可視化、対話を通じた振り返りをより意識的に行い、教職員が自信をもって実践できる体制づくりが必要である。

5 次年度以降の取組について

次年度以降は、今年度の成果と課題を踏まえ、以下の点を重点的に取り組んでいく。

第一に、教育活動の「見える化」と情報発信の充実である。ホームページやブログ、学校だより等を通して、日々の授業や行事のねらい・成果を分かりやすく発信し、保護者や地域に学校の取組をより深く理解してもらえるよう努める。

第二に、個々のニーズに応じた支援とキャリア教育のさらなる充実である。児童生徒一人一人の実態に即した目標設定と支援方法を共有し、学部を越えた一貫性のある指導を進めていく。

第三に、教職員間の対話と協働を重視した学校運営である。「チームこやの里」を合言葉に、報告・連絡・相談を大切に、互いを認め合いながら、安心して意見交換ができる職場環境づくりを進める。

これらの取組を通して、児童生徒・保護者・教職員が共に成長を実感できる学校づくりを目指していく。